豊岡市監査委員	羽	尻	知	充
豊岡市監査委員	中	嶋	英	樹
豊岡市監査委員	西	田		真

財政援助団体等に対する監査（財政的援助団体監査）結果報告について
（ 地域コミュニティ組織 ）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査を実施したので、同条第9項の規定により、その監査の結果に関する報告を別紙のとおり提出します。

財政援助団体等監査結果報告書
(補助金等交付団体監査)

第1 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による監査（補助金等交付団体監査）

第2 監査の対象

1 監査の対象

地域コミュニティ組織

（当該団体の事業に係るくらし創造部地域づくり課及び各振興局地域振興課の事務を含む。）

2 選定理由

以下の事由により、当年度の監査対象とした。

- (1) 地域コミュニティ組織（以下「組織」という。）の運営が平成29年度から開始され一定の期間が経過している。
- (2) 補助金等が交付の目的に沿って適正かつ効率的に執行され、十分効果を上げているか確認する。
- (3) 適正な会計処理、財産の管理が行われているか確認する。
- (4) 所管課として、補助金等交付団体への指導監督は適切に行われているか確認する。

第3 監査の目的と範囲

1 目的と範囲

交付金を交付している団体の当該財政的援助等に係る出納その他の事務の執行が当該財政的援助等の目的に沿って行われているか、当該事務が関係法令及び規程等に準拠し適正で効率的かつ効果的に行われているかを、関係者によるヒアリングや証ひょう書類等を突合するなどの監査手続を通じて試査する。

特に今回の監査は、組織における出納事務手続、その他関係事務について、適時適切に行われているかという観点から、令和3年度から令和5年度までの3年間の収支状況の事務を監査の対象範囲として実施した。現地監査については、「コミュニティあいはし」1団体を選定して行った。組織に係る地域づくり課及び但東振興局地域振興課の事務が、関係法令等に則り適切に処理されているか試査した。

2 方法

- (1) 豊岡市補助金等交付規則及び関係補助金等交付要綱に基づく関係書類を閲覧し、補助金等交付申請書、交付決定書、実績報告書及び額確定通知書の事務手続きが適正に行われているかどうかなどについて書類審査を行うとともに、必要に応じて関係職員から説明を聴取した。
- (2) 補助等を受けた団体の中から1団体を抽出して、補助金等に係る出納その他の事務の執行について関係帳簿の提出を求め、補助金等が補助目的及び事業計画に基づき適正に執行されているかどうか、会計経理の内容が適正であるかどうかなどについて監査を行った。

第4 監査の着眼点

監査の実施にあたり、監査の着眼点を次のとおり設定した。

1 財政援助団体関係

- (1) 事業計画書、予算書及び決算諸表等と所管部局へ提出した補助金等の交付申請書、実績報告書等は符合するか。
- (2) 補助金等交付申請書の提出及び補助金等の請求、受領は適時に行われているか。
- (3) 事業は、計画及び交付条件に従って実施され、十分効果が上げられているか。また、補助金等が補助等対象事業以外に流用されていないか。
- (4) 出納関係帳票の整備、記帳は適正か。また、領収書等の証拠書類の整備、保存は適切か。
- (5) 補助金等に係る収支の会計経理は適正か。
- (6) 会計処理上の責任体制は確立されているか。
- (7) 精算報告は適正に行われているか。また、精算に伴う返還金の返還時期などは適切か。
- (8) 財産の処分制限がある場合に、これに違反するものはないか。

2 所管部局関係

- (1) 補助金等の決定は法令等に適合しているか。
- (2) 補助金等の交付目的及び補助等対象事業の内容は明確か。また、公益上の必要性は十分か。
- (3) 補助金等に関する条件の内容は明確か。
- (4) 補助金等の額の算定、交付方法、時期、手続等は適正か。
- (5) 補助金等の効果及び条件の履行の確認は、実績報告書等によりなされているか。
- (6) 補助金等交付団体への指導監督は適切に行われているか。
- (7) 補助金等の交付目的や効果等から判断して、統合・廃止等の見直しをする必要のあるものはないか。

第5 監査の主な実施内容

1 事前監査（予備調査）の実施

組織、地域づくり課及び但東振興局地域振興課を対象に、監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）を実施した。事業が交付の目的に沿って良好に運営されているか、出納その他の事務が関係法令や規程などに従って適正に処理されているかなどを主眼に、会計諸帳簿その他関係書類の一部を抽出して調査するとともに、関係職員に対する質問等の方法により実施した。

事前監査においては、主な着眼点毎に、内部統制の整備状況及び運用状況について、事前監査点検事項を設定する方法により監査を実施した。

- (1) 実施日 令和6年10月10日

2 監査委員監査（本監査）の実施

- (1) 実施日 令和6年10月23日
- (2) 監査委員名 監査委員 羽尻 知充、監査委員 中嶋 英樹

※ 西田 真監査委員は、所用のため欠席した。

- (3) 基準等 豊岡市監査委員監査基準及び監査等の実務ガイドライン（全国都市監査委員会編集）

第6 監査の実施場所及び日程

- 1 実施場所 合橋地区コミュニティセンター会議室
- 2 監査の期間 令和6年9月4日から11月22日

第7 監査の結果

今回の監査は、豊岡市から組織への財政援助に係るもので、組織の出納、関連するその他の事務の執行が、計画及び交付条件に従って実施され、十分な成果が上げられているか、また、補助金等が補助対象事業以外に流用されていないかなどを重点に、主として令和6年度執行の事務について聴取し、関係諸帳簿の検査を実施した結果、補助金等の交付目的に沿って適正に執行されていると認められる。

なお、今回の監査における指摘事項等は、「6 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、これらの要望事項等に関しては検討を求める。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。

以下、監査結果は次のとおりである。

文中及び各表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

1 地域コミュニティ組織の概要

(1) 地域コミュニティづくりの理念と目指す姿

ア 市では、令和2年2月に地域コミュニティのあるべき将来像とその実現のための方法を示した「豊岡市地域コミュニティビジョン」を策定した。このビジョンを指針に、各組織がそれぞれの地域づくり計画策定に取り組んでいる。

イ 地域づくり計画では、地域の資源、魅力や課題を洗い出し、概ね10年後の地区の将来像を描いている。組織では、その将来像の実現に向けて取り組んでいる

(2) 地域コミュニティづくりの拠点「コミュニティセンター」

ア コミュニティセンターは、これまでの貸館や住民のよりどころとしての社会教育機能に加え、地域の様々な課題を解決する組織の拠点施設として位置づけ、住民自治の拠点として活用されている。

イ 組織は、市との委託契約により、施設の受付、施設使用料の納付書発行事務、日常点検などの管理業務を行っている。

(3) 各組織の概要は次のとおりである。

ア 組織

(令和6年4月1日現在)

組織名	人口(人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	集落数(区)
とよおかコミュニティ31	8,170	4,093	37.3	31
八条コミュニティ	5,287	2,350	26.4	9
三江コミュニティ	2,951	1,371	37.6	10
コミュニティたづるの	2,720	1,143	26.3	10

組織名	人口(人)	世帯数(世帯)	高齢化率(%)	集落数(区)
コミュニティ五荘	11,700	5,207	27.4	17
コミュニティ新田	3,348	1,450	28.5	8
コミュニティなかすじ	1,683	682	38.9	9
奈佐地区コミュニティなぎさの会	910	384	43.7	12
コミュニティみなと未来	2,316	1,037	43.2	7
神美コミュニティ	1,938	763	34.6	10
コミュニティ城崎	3,031	1,582	39.9	31
NPO法人わいわいみ・な・み ※1	859	400	50.8	17
中竹野地区コミュニティ	562	228	41.3	9
コミュニティたけの	2,477	1,061	41.2	17
コミュニティこくふ	2,922	1,204	33.4	13
八代おもいやりネット	603	234	44.4	9
日高地区コミュニティ「きらめき日高」	7,378	3,135	29.6	18
コミュニティ三方	2,275	919	43.9	16
桜・清流の郷きよたき	1,394	586	43.6	7
西気明日のいしずえ会	662	292	45.6	7
弘道コミュニティ協議会	3,529	1,576	35.4	16
はにの里菅谷協議会	526	224	40.9	5
福住ふれあい協議会	1,370	569	38.6	9
床尾の里てらさか	498	191	40.8	4
夢コミュニティ小坂	1,665	688	39.7	13
小野コミュニティ	1,064	439	35.7	4
資母まちづくり協議会	1,416	632	48.2	17
コミュニティあいはし	1,480	649	44.8	16
コミュニティたかはし「たかねっと」	688	318	50.7	9

人口及び世帯数は、住民基本台帳登録数

※1 特定非営利活動法人竹野南地区コミュニティわいわいみ・な・みの略称

イ 組織の体制

- (ア) 組織の規約及び定款に基づき、会長、役員会、部会等が設置されている。
- (イ) 事務局の立場で組織の運営や地域づくりの活動を行う地域マネージャーを市が雇用し、各地区に配置している。
- (ウ) 地域マネージャー以外に必要な職員については各組織で直接雇用している。

2 補助金等対象事業

令和5年度に各組織等へ交付された予算の交付状況は、次のとおりである。

(1) コミュニティづくり交付金

組織運営のための経費と、従来から市が支援してきた公民館活動相当の活動経費を基本にした考え方で交付するもので、各年度2回（4月及び10月）に分けて交付している。

コミュニティづくり交付金の積立に関して、特定目的積立は、後年度に、目的を持って執行する必要がある場合に目的を明確にしたうえで組織が基金を設置し、必要額の積立ができるものとしている。また一般積立は、未執行の額について次年度事業の積立金として積み立てるものとし、当該積立金額を次年度の交付金額から控除（差し引き）することとしている。令和5年度は、4団体の交付額から控除している。

組織名	交付額(円) (変更交付額)	収入(円)	支出(円)	差引残額(円) (一般積立金)
とよおかコミュニティ31	5,511,000	5,511,000	5,511,000	0
八条コミュニティ	4,848,000	4,848,000	4,848,000	0
三江コミュニティ	4,740,000 (4,737,876)	4,740,000	4,740,000	0
コミュニティたづるの	4,726,000	4,726,000	4,726,000	0
コミュニティ五荘	5,679,000	5,679,000	5,679,000	0
コミュニティ新田	4,758,000 (3,425,712)	4,758,000	3,894,304	863,636
コミュニティなかすじ	4,680,000	4,680,000	4,680,000	0
奈佐地区コミュニティなぎさの会	4,642,000	4,642,000	4,642,000	0
コミュニティみなと未来	4,712,000	4,712,000	4,712,000	0
神美コミュニティ	4,691,000 (4,215,267)	4,691,000	4,199,509	491,491
コミュニティ城崎	5,136,000	5,136,000	5,136,000	0
NPO法人わいわいみ・な・み	4,638,000	4,638,000	4,638,000	0
中竹野地区コミュニティ	4,624,000	4,624,000	4,624,000	0
コミュニティたけの	4,969,000	4,969,000	4,969,000	0
コミュニティこくふ	4,739,000	4,739,000	4,739,000	0
八代おもいやりネット	4,626,000	4,626,000	4,626,000	0
日高地区コミュニティ 「きらめき日高」	5,276,000	5,276,000	5,276,000	0
コミュニティ三方	4,711,000	4,711,000	4,711,000	0
桜・清流の郷きよたき	4,664,000	4,664,000	4,664,000	0
西気明日のいしずえ会	4,628,000	4,628,000	4,628,000	0
弘道コミュニティ協議会	5,017,000	5,017,000	5,017,000	0
はにの里菅谷協議会	4,622,000	4,622,000	4,622,000	0
福住ふれあい協議会	4,663,000	4,663,000	4,663,000	0
床尾の里てらさか	4,620,000	4,620,000	4,620,000	0
夢コミュニティ小坂	4,680,000 (3,953,307)	4,680,000	4,680,000	0

組織名	交付額(円) (変更交付額)	収入(円)	支出(円)	差引残額(円) (一般積立金)
小野コミュニティ	4,601,000	4,601,000	4,601,000	0
資母まちづくり協議会	4,667,000	4,667,000	4,667,000	0
コミュニティあいはし	4,917,000	4,917,000	4,917,000	0
コミュニティたかはし 「たかねっと」	4,630,000	4,630,000	4,630,000	0
計	136,878,162	—	—	—

(2) 地域コミュニティ活動促進事業交付金

地域コミュニティの活性化を図るため、新たな事業の立ち上げを支援する「新規事業分」と、計画の策定または改定を支援する「地域づくり計画分」があり、同一事業につき、3年間で限度に交付するものである。基本的には、1組織1年間50万円を限度としているが、特に有効と市が認める場合は、別に限度額を定めることができる。なお、交付の可否、交付限度額は、組織から事業提案を受け、審査委員会の意見を踏まえて決定している。

組織名	補助対象事業	交付額(円)
八条コミュニティ	地域づくり計画策定業務	282,000
コミュニティなかすじ	若者交流事業	276,000
コミュニティ城崎	城崎歳時記プロジェクト～ふるさと城崎の伝統をつなぎ、人をつなぐ～	489,000
中竹野地区コミュニティ	竹野鉦山プロジェクト	500,000
コミュニティこくふ	地域づくり計画策定事業	445,000
弘道コミュニティ協議会	弘道スマイルプロジェクト～あなたの夢を叶えるお手伝いをいたします～	325,000
小野コミュニティ	小野のお宝再発見から発信へ～撮影会とフォトコンテスト～	500,000
計	—	2,817,000

(3) 豊岡市自治会活動保険等加入補助金

地域住民の自主的事業を促進するとともに、不慮の事故に対する自治会及び組織の対応を支援するため、自治会活動保険加入費の助成を行っている。

令和5年度は、豊岡市地域コミュニティ協議会(※2)へ3,366,990円の交付を行っている。なお、今年度より所管課がくらし創造部地域づくり課から総務部総務課に移管している。

(※2) 29地区の地区間の情報共有や連絡調整を行う団体

(4) 令和6年度の補助金等の交付決定等

当年度も補助金交付要綱等に基づき交付申請を受け付け、当該申請に係る書類等の審査を行い、コミュニティづくり交付金、地域コミュニティ活動促進事業交付金及び豊岡市自治会活動保険等加入補助金の交付の決定を適正に行っている。

組織と市は、お互いが連携し協働するパートナーの関係で、市は各組織と緊密に連携し、地域活動の推進・支援を行っている。

3 コミュニティセンターの施設概要及び利用状況

令和5年度中のコミュニティセンターの利用状況は、次のとおりであった。

コミュニティセンター名	現施設 開設年	建 物 延面積(m ²)	利用 回数	利用人員 (人)	使用料 (円)
豊岡地区コミュニティセンター	H13	1,856.13	2,839	46,437	1,268,950
八条地区コミュニティセンター	H元	860.71	482	11,182	43,000
三江地区コミュニティセンター	S62	640.98	790	7,331	110,100
田鶴野地区コミュニティセンター	S56	588.60	579	6,841	67,150
五荘地区コミュニティセンター	H15	1,312.50	952	41,627	311,040
新田地区コミュニティセンター	S59	654.87	464	8,792	147,140
中筋地区コミュニティセンター	S52	537.53	204	4,752	15,290
奈佐地区コミュニティセンター	H18	497.12	351	3,607	4,320
港地区コミュニティセンター	H6	714.97	425	10,755	16,370
神美地区コミュニティセンター	H3	518.77	462	3,958	28,460
城崎地区コミュニティセンター	H19	704.65	680	5,110	162,570
竹野南地区コミュニティセンター	H29	587.00	401	4,731	3,120
中竹野地区コミュニティセンター	S53	637.87	322	4,083	15,110
竹野地区コミュニティセンター	H23	613.69	790	15,699	61,910
国府地区コミュニティセンター	S58	588.00	934	9,321	223,750
八代地区コミュニティセンター	H5	527.58	300	2,251	276,170
日高地区コミュニティセンター	S53	2,086.24	689	36,947	454,690
三方地区コミュニティセンター	S56	599.33	656	10,626	31,590
清滝地区コミュニティセンター	S57	546.68	426	8,109	13,610
西気地区コミュニティセンター	H29	465.00	331	3,537	50,000
弘道地区コミュニティセンター	H20	572.19	910	10,034	163,040
菅谷地区コミュニティセンター	H16	286.17	367	5,331	1,770
福住地区コミュニティセンター	H19	494.42	600	6,894	138,370
寺坂地区コミュニティセンター	H20	437.75	182	4,514	54,680
小坂地区コミュニティセンター	S56	467.11	422	5,014	15,870
小野地区コミュニティセンター	H24	368.71	150	3,009	50,200
資母地区コミュニティセンター	H22	509.00	624	5,758	18,750
合橋地区コミュニティセンター	H19	752.90	540	5,864	128,960
高橋地区コミュニティセンター	H6	498.59	391	4,851	1,300
計	—	—	17,263	296,965	3,877,820

- ※ 貸館及び県民交流広場以外の場所において、申請により組織の事務所を置くことができ、すべての組織で、事務所をコミュニティセンター内に置いている。
- ※ 日高地区コミュニティセンターは、改修工事のため5月1日～12月28日の間一般貸出を休止した。

4 コミュニティあいはしの概要

(1) 概要

- ア 名称 コミュニティあいはし
- イ 設立年月日 平成29年3月17日
- ウ 所在地 豊岡市但東町出合150番地
- エ 合橋地区の紹介

令和6年4月1日現在、人口は1,480人、世帯は649世帯、高齢化率は44.8%となっている。

- (ア) 豊岡市の東部、但東町の西部に位置し、西は国道426号線を経て出石町、南は県道56号線を経て福知山市夜久野町に接している。土地のほとんどは山林が占めており、出石川、太田川及びその支流沿いに集落や田畑が広がっている。
- (イ) 資母村、合橋村、高橋村が合併し、但東町が誕生した際は役場が建設されたり、以後、中学校が統合して但東中学校が開校したり、但東町農協の本所が建設されるなど、但東町の政治と経済、教育が集中している地区である。
- (ウ) 農業が盛んな地区であり、主な産品として、水稻、シルクコーン、シルクナス、菌床しいたけ、ピーマンなどがある。
- (エ) 現在は、16区が存在し、人口・世帯数とも減少傾向が続いており、市内でも人口減少率が比較的高い地区である。一部の集落を除き高齢化率も高く、将来的な集落の維持が懸念されている。
- (オ) 「いのちの教育」の探求に尽くした教育者である東井義雄の生誕の地として知られている。

(2) コミュニティあいはし（構成団体）

「コミュニティあいはし」規約で、会員は、合橋地区に居住する市民、合橋地区の出身者、合橋地区の事業所等に勤務する者、合橋地区に住所を置く団体・企業と定められている。合橋地区の区長は、総会で審議及び決定を行う「代議員」としてコミュニティあいはしの運営に関与している。

(3) 役員体制

現在の役員体制は、会長1名、副会長3名、理事4名、監事2名、事務局4名となっている。前述の役員のうち、理事3名と監事1名は区長会から選出されており、区長会が一定程度関与する役員体制となっている。

(4) 各部会等の取り組み

ア 全体事業

地域づくりプロジェクト

（クマさん来ないで作戦、公共交通の利用促進、合橋の宝探し） 等

イ 農地環境部

合橋わくわく農場 農業体験 等

ウ 生活支援部

まごのて活動、買い物ツアー、高齢者との交流会、ひとり暮らし見守り訪問 等

エ 防災部

防災啓発活動、空き家調査 等

オ プロジェクト

自然ふれあい体験交流推進事業、草花で合橋を元気に 等

カ 事務局事業

多世代交流グラウンドゴルフ大会、夏休みこども集まれ、各種教室の開催、
サークルサポート 等

(6) 収支の状況

令和5年度コミュニティづくり交付金関係決算状況明細書

(ア) 収入

科目	決算額(円)	備考
繰越金	1,981,135	令和4年度繰越金
参加料	276,582	大経大交流・各教室・イベント参加料
協力費	156,900	運営協力費(区)
委託料	544,000	センター、シルクドーム管理
補助金	4,917,000	コミュニティづくり交付金
雑入	4,402	預金利息、手数料
合計	7,880,019	

(イ) 支出

科目・事業区分	決算額(円)	備考
事業費	1,144,226	
共通事業	109,728	地域づくり計画、倉庫電気代
農地環境部	59,072	わくわく農場 農業体験
自然観光部	207,593	カブトムシ体験交流・草花
生活支援部	259,631	まごのて・買い物ツアー・交流会
防災部	30,145	防災ワークショップ報告会
人づくり部	35,259	グラウンドゴルフ大会
事務局事業	442,798	大経大交流・イベント・教室・ スクールサポート・文化展
管理費	4,136,534	
人件費	3,242,476	地域づくり支援員
委託料	14,968	社会保険労務士委託料
消耗品費	222,488	コピー用紙、文房具代等
備品購入費	230,010	パソコン・炊飯器等

光熱費	43,824	ガソリン・灯油代
賃料・借料	9,600	パソコンレンタル代（1台）
印刷製本費	194,025	コミュニティ新聞印刷代
通信費	50,445	郵券代等
会議費	119,698	費用弁償等
雑費	9,000	商工会・観光協会費
合 計	5,280,760	

本市が交付した交付金はすべてコミュニティあいはしの預金口座に入金され、予算執行が行われていた。

コミュニティづくり交付金について、会計監査が実施され、会計報告が行われている。

6 監査の総括及び所見

<組織関係>

令和5年度の交付金に係るコミュニティあいはしの財務関係書類を抜粋して照合したところ、計数的な誤りはなく、出納その他の事務については、適正に処理されていると認められた。

手当、費用弁償、旅費、慶弔の規程は整備され、組織内での支払いのルールが定められていた。

事業は、計画及び交付条件に従って実施され、効果が上げられていることを確認した。

<コミュニティあいはし>

(1) はじめに

コミュニティあいはしは、平成24年設立の「合橋地区振興対策協議会」がその母体で、平成26年設立の「合橋地域づくりの会」の事業活動を組み入れた組織となっており、平成27年に地域づくりの会が「合橋地域づくり計画」を策定し、その計画に基づいて取り組みを展開してきた。

コミュニティあいはしの運営については、合橋地区区長会や各種地域団体等と連携しながら行っている。また、必要に応じて、くらし創造部地域づくり課、但東振興局地域振興課及び中間支援組織「ちいきのて」の支援や指導を受けている。

(2) 現 状

地域住民の活動の拠点、交流の場として幅広い世代でコミュニティセンターが有効に活用されており、地域の特性を生かした事業を行っている。代表的な事業としては生活支援部の福祉関連事業であるが、その他に、クマさん来ないで作戦（熊被害防止活動）、合橋の宝探し（地域資源の探索活動）、自然ふれあい体験（しいたけ菌床残渣を活用したカブトムシ生産等）、大阪経済大学スタディツアー（クッキング・夏祭り等を通じた学生と子供たちとの交流）がある。

コミュニティあいはしで実施された各種事業及び地域に密着した話題等については「コミュニティあいはし新聞」を毎月発行し、地区に広報されている。また、フェイスブック、インスタグラム等のSNSによる活動状況の情報発信も行っている。

令和2年に市から各地区をどのように維持活性化させていくのか、基本的な在り方が示され

たことを受けて、将来の合橋地区を見据えたビジョンを策定することとし、令和5年12月に「コミュニティあいはし地域づくり計画」を策定した。この計画の策定にあたっては、市と中間支援組織「ちいきのて」の協力を得て、合橋地区の中学生以上全住民アンケートの結果を基に、ワークショップ形式で検討・協議が繰り返し行われた。同計画は、取り組む具体的な活動や事業を「すぐやること」「3～5年後にやること」「5年後以降にやること」「いったん置いておくこと」の4つに分類し、その内容に沿って取り組みを進めようとしている。

(3) 所見

引き続き、合橋地区内での情報共有、意思疎通に努められ、各種地域団体との連携を深め、住民のコミュニティあいはしへの理解が深まることを期待している。

<所管課関係>

29の組織に関係する地域づくり課及び各振興局地域振興課の事務について、豊岡市補助金等交付規則及び豊岡市補助金等交付要綱に基づき、令和5年度の交付金交付手続きは適正に行われていた。報告書等の書類の検査は、組織の決算書、交付金関係の収支状況、交付金関係決算状況明細書、金銭出納簿、領収書、通帳、備品台帳等を照合して行い、必要に応じて現場調査等を行っていることを確認した。

また、財政援助により取得し、又は効用の増加した財産について、交付の目的に反して使用することなどは行っておらず、適切に管理されていると聴取した。

所管課では、組織の地域づくり計画の策定検討会等に随時参加し、状況把握を行ったり、中間支援組織「ちいきのて」から組織の状況について適宜報告を受けるなどして組織の運営・活動状況を確認している。また、毎月地域マネージャーから活動状況の報告を受けている。

内部統制の有効性及び事務の経済性、妥当性並びに合理性の観点から、要望事項については次のとおりである。

<組織関係>

〔指摘事項〕

(1) 合橋特産物研究所は、元々コミュニティあいはしの部会に所属していたが、収益事業を行っていたため、部会から分離し、コミュニティとの関係性を排除したという経過があるにも関わらず、同研究所の会計監査をコミュニティあいはしの監事が行っていたり、同研究所の活動にコミュニティの職員が人的支援を行っていた。

同研究所とコミュニティとの関係性について整理を行い、双方が適切な関係性になるよう改善を図られたい。

〔注意事項〕

(1) 定期総会・臨時総会における議案の提案順序及び施行日が適切でない案件が見受けられた。提案順序及び施行日を誤ることにより、事務・事業に矛盾・不具合が生じることがあるため、議案の作成時には内容の整合性が取れているか等、十分な確認を行うよう注意されたい。

(2) 各種規程の改正を行った場合は、総会で改正内容の報告を行うよう注意されたい。

〔要望事項〕

(1) 事務決裁の明確なルールが無いため、事務決裁規程の制定を検討されたい。

<所管課関係>

〔要望事項〕

(1) 組織による地域づくりがさらに進展し、確実なものとなるよう、「地域づくり計画」の策定や見直しを支援するとともに、地域コミュニティビジョンの具体的な行動計画となる庁内横断的なアクションプランを確実に進めている。

今後とも庁内調整を進め、組織と協働して地域づくりに取り組まれない。

(2) 組織が地区住民から信頼できる組織として活動できるように、民主的な意思決定や運営のルール、責任ある運営体制、自律的なチェック機能を備える団体となるよう、様々な支援を続けている。

引き続き、組織の監督及び各種指導を適切に行われたい。